



MEIKAI UNIVERSITY



2024明海大学

「大学と地域連携の未来」 シンポジウム

大学と地域の連携によるウェルビーイング推進の可能性

2023年度において明海大学の学生や教職員等が実施した小中高等学校等に対する支援の状況について、「学生の発表」を核にしながら紹介するとともに、その成果と課題などについて広く地域の関係者・関係機関等を交えて考察する中で、大学と地域の連携によるウェルビーイング推進の可能性について検討します。

対面・オンラインのハイブリッド開催

※感染症拡大の状況によっては、オンライン（Zoom ミーティングによる）配信開催となります。

2024年

開催日

2月4日 12:30-16:40

会場

明海大学浦安キャンパス
(2206講義室)

参加料

無料

申込
方法

QRコード、ホームページ
またはE-mailにて受付(定員になり次第締切)

開催
形式

ハイブリッド形式
(対面と Zoom によるオンラインの併用)
定員▶300名 対面▶100名 オンライン▶200名

基調講演

12:40~13:40

講師

露口 健司 氏 (愛媛大学大学院教授)

演題

子供を取り巻くつながりが生み出すウェルビーイング

学生発表

13:50~15:25

グループA

大学生による
日本語指導支援

グループB

留学生等による児童・
生徒との交流

グループC

大学生による
学習支援

パネルディスカッション

15:30~16:35

テーマ

大学と地域の連携によるウェルビーイング
推進の可能性

主催：明海大学教職課程センター・地域学校教育センター

後援：千葉県教育委員会、東京都教育委員会、足立区教育委員会、浦安市教育委員会、時事通信社出版局、日本教育新聞社、(財)きょういく創造育成財団

演題 子供を取り巻くつながりが生み出すウェルビーイング

講師 つゆぐち けんじ 露口 健司 氏 (愛媛大学大学院教育学研究科 教授)

プロフィール

- 徳島県阿南市生まれ。
- 九州大学大学院人間環境学府後期博士課程修了 (博士 (教育学))
愛媛大学教育学部准教授を経て現職。
- 教職員支援機構客員フェロー、国立教育政策研究所客員研究員、放送大学客員教授、兵庫教育大学客員教授を兼務。中央教育審議会「質の高い教師確保特別部会」委員。
- 著書：『教員のウェルビーイングを高める学校の働き安さ・働きがい改革 (教育開発研究所)』『日本の教職論 (NHK出版)』『子供の学力とウェルビーイングを高める教育長のリーダーシップ (学事出版)』『ソーシャル・キャピタルと教育 (ミネルヴァ書房)』『学校組織の信頼 (大学教育出版)』他多数。



講演概要

- ① **ウェルビーイングの到達モデルと循環モデル**
ウェルビーイングとは何だろう？
- ② **子供のウェルビーイングと認知的／非認知的スキル**
認知的／非認知的スキルとの関係をどのように整理すればよいのか？
- ③ **子供の1日のウェルビーイングの推移**
子供にとって1日で一番幸せな時間は？
- ④ **子供が支える地域のウェルビーイング**
子供は大人に幸せにしてもらう受動的な存在?? 地域の人々を幸せにする能動的な存在??
- ⑤ **ウェルビーイングを循環させるリーダーシップ実践**
ウェルビーイングの循環蓄積のために自分ができることは??

MEMO

概要

本学と教育に関する連携協定を結んでいる、東京都立飛鳥高等学校及び東京都立南葛飾高等学校で、日本語指導が必要な外国人生徒に対し、外国語学部日本語学科及び応用言語学研究科の学生が日本語指導支援を行いました。

1. 東京都立飛鳥高等学校 全日制

前学期2回、後学期14回の授業を実施しました。生徒は3人でいずれも上級レベルで、大学への進学を希望しています。教材は「話す・書くにつながる日本語読解 中上級」を使用しました。内容の目的としては、読解を経て自身の意見を論理的に書き、話し合いを通じて、日本語での表現や意見の述べ方を学んでいくものとなっています。

全日制課程 授業例

- 15:30 授業開始・導入・振り返り
- 15:40 本文読解
- 15:55 休憩
- 16:00 本文の音読（読み方の確認）
- 16:15 内容確認問題の解答
- 16:40 発展問題・話し合い
- 16:55 振り返りシートの記入
- 17:00 授業終了

ふりかえりシート

都立飛鳥高等学校 2023年度月曜日		学籍番号()	名前()
ふりかえりシート			
第●回	月 日	この授業で考えたこと	おぼえた語・表現
第 四 回	月 日		
第 四 回	月 日		

【記入例】

- ・充足 (1課)
- ・ムース (3課)
- ・愛おしい (4課)
- ・循環 (6課)
- ・針葉樹 (8課)

2. 東京都立飛鳥高等学校 定時制

前学期7回、後学期17回の授業を実施しました。生徒は7人で、N3クラスとN4クラスの2クラスに分かれています。教材は、N3クラスで「みんなの日本語中級I」、N4クラスで「みんなの日本語初級II」を使用しました。主に語彙と文法の指導を行いました。指導の目的は、正確な言語運用ができることです。指導にあたって重視したのは、例文を読むこと、会話練習すること、非漢字圏の生徒たちに対する漢字の書きの練習です。

語彙リスト例

- 語句 診ます 診察します
- 意味 意味： 具合が悪いです。医者に行きます。
どこが悪いですか。医者が調べます。
- 中国語訳 中国語： 检查・咨询・看
- 英語訳 英語： examine・consultation

まとめの使い方

まとめの使い方：

- Vの普通形+んですか。 ご飯を食べました。 --- ご飯を食べたんですか。
- い形容詞の普通形+んですか。 気分がいいですか。 --- 気分がいいんですか。
- な形容詞の普通形+んですか。 好きですか。 --- 好きなんですか。
- N+な+んですか。 病気なですか。 --- 病気なんですか。

3. 東京都立南葛飾高等学校

前学期17回、後学期25回の授業を実施しました。生徒は約16人で、前学期はN5とN4の2クラス、後学期はN4・N3クラスとN3クラスに分けました。

教材は前学期・後学期で複数扱いました。前期では文法指導を、後期では読解指導を中心に支援にあたりました。またJLPT（日本語能力試験）合格を目標に、読解力をあげることを意識し、集中しやすい環境づくりも重視しました。

教材リスト①

- 前期 N4クラス
 - ・学ぼう！にほんご練習問題集初級2
 - ・新完全マスター語彙N4
- 後期 N4クラス→N3クラス
 - ・日本語N3文法・読解まるごとマスター
 - ・話す・書くにつながる日本語読解初中級

教材リスト②

- 前期 N5クラス
 - ・学ぼう！にほんご練習問題集初級1
 - ・JSL中学高校生のための教科書につながる学習語彙・漢字ドリル
- 後期 N4クラス→N3クラス
 - ・新完全マスターN3読解
 - ・JLPT読解N3ポイント&プラクティス

概要

東京都足立区の小学生・中学生との交流、東京都立高校生との交流、東京都立高校への訪問の様子について、実際に携わった本学の留学生と学生が具体的な内容を紹介します。

1. 足立区小学生との交流

明海大学あけみ英語村2023

本学の留学生等と足立区の小学生が英語を使って異文化交流を行う「明海大学あけみ英語村2023～小学生異文化交流プロジェクト～」を10月と11月に計2回開催しました。

10月24日には足立区立島根小学校4年生86人、11月6日には足立区立花畑第一小学校6年生62人が本学を訪れ、本学の外国人留学生・日本人学生約70人と一緒に英語を使った異文化交流を行いました。

はじめに、グループで自己紹介や留学生の母国紹介、小学生の発表などをして緊張をほぐしました。次に、グループごとに大学の主要な施設を留学生たちから英語による説明を聞きながら回るキャンパスツアーを行いました。

最後に、多言語コミュニケーションセンター（MLACC）のPatrizia Hayashi教授、Tyson Rode准教授の指導のもと、小学生は会場を自由に回って留学生・日本人学生と次々とペアになり、英語の質問に答えてご褒美のシールをもらうコミュニケーション活動を行いました。

参加した小学生は、「最初は緊張してあまり話せなかったけれど、英語で話しているうちに気楽に話せるようになっていました！大学生の人が、優しく接してくれてうれしかったです」などの感想を寄せてくれました。



2. 足立区中学生との交流

留学生と中学生の交流

本学の留学生と足立区の中学生が英語を使って異文化交流を行う異文化交流学習会を2023年度は4回実施しました。

6月23日、本学の留学生11人が足立区立扇中学校で8年生（中学2年生）75人と7年生（中学1年生）67人と英語による異文化交流会を持ちました。

7月7日、本学の留学生12人が足立区立第十四中学校で3年生246人と異文化交流会を持ちました。

11月22日、本学の留学生7人が足立区立千寿桜堤中学校で2年生169人と異文化交流会を持ちました。

12月13日、本学の留学生9人が足立区立谷中中学校で2年生148人と異文化交流会を持ちました。

合計4回の異文化交流会に参加してくれた延べ人数39人の留学生は、韓国、中国、ドイツ、ドミニカ共和国、フィリピン、ネパール、ベトナム、香港、マレーシアの計9か国・地域出身でした。

参加した中学生たちは「海外の人達と交流を取ることには滅多にないので、色々な国の人達と交流をして色々な文化を知れてよかったです」や「全部英語で分からないこともあったけどいい体験になりました。このような体験をまたしたいです」と話してくれました。



3. 都立高校生徒との交流

大学生と話そう会

5月28日に、「大学生と話そう会2023」が開催されました。このイベントは、明海大学と連携高校との関係をより強固にするとともに、高校生が直接大学生と交流することで大学での勉強や学生生活について理解を深めることを目的として、実施しているものです。

今回は、都立飛鳥高校、都立南葛飾高校、都立葛西南高校、県立浦安高校の4校から42人の高校生が参加し、そのうち22人は在京外国人生徒でした。高校生たちは、午前中に大学紹介やオープンキャンパスの学科魅力発見コーナーなどを見学した後、昼食は学食体験をし、午後30周年記念館スケジュールホールでの交流会に参加しました。学生15人及び本学外国人留学生15人は高校生42人と一緒に15個のテーブルにグループを作って座り、高校生から大学生に質問したり、地球規模の課題についてディスカッションを行いました。

参加した高校生からは、「今回の体験で、大学に進学したいという思いが一層強くなりました」などの感想が聞かれました。



4. 都立高校訪問

都立田柄高校への訪問

7月12日に、本学と高大連携協定を結んでいる東京都立田柄高等学校において「留学生との交流会」が行われました。これは、本学外国人留学生と高校生との交流を通じてお互いの文化に触れ理解を深めることを目的としたものです。本学からは、中国、ベトナム、マレーシア出身の外国人留学生6人が参加しました。田柄高等学校では1年生5クラスに分かれ、それぞれ自国文化について写真やスライド資料を投影しながら紹介を行いました。

次に、留学生全員と国際交流委員を務める生徒たちが視聴覚教室に集まり、懇談して交流を深めました。

最後に、茶道部による抹茶のおもてなしをいただき、会は和やかに終了しました。

参加した留学生は、「高校生の皆さんにとっても明るく出迎えていただきました。活発な交流ができて自身にとっても刺激になりました」と感想を語っていました。



本学では、本学の留学生と小学生・中学生・高校生との異文化交流を推進しています。小学生・中学生・高校生にとっては、留学生と主に英語を使ってコミュニケーションできる貴重な機会となり、英語学習のさらなる必要性を感じる機会になるとともに、世界のさまざまな文化との出会いと相互理解の大切さなどを体験を通して学びます。本学留学生も日本の学校文化や子どもたちと触れ合うことで、日本へのより深い理解につながります。

概要

浦安市「小学校英語支援」と「青少年自立支援未来塾」、「明海小児童育成クラブ」、都立高校「校内寺子屋」、足立区「区民対象の英語講座」と「英語マスター講座修了者スピーチプレゼンテーションコンテスト」における学生による学習支援の様子について具体的な内容を紹介します。

1. 浦安市 小学校英語支援

明海大学は2017年に浦安市教育委員会と教育に関する連携協定を締結して以来、市立小学校の英語・外国語活動に学生が参加し、授業の補助を行っています。学生は大学での授業と合わせて、小学校英語の指導の経験を積むことで小学校英語指導者資格を取得することができます。

今年度は、明海小学校、高洲小学校、高洲北小学校の3校に外国語学部英米語学科の4年生5人と3年生3人が参加しました。

小学校の先生方からは「ALTとのコミュニケーションもきちんととることができ、とても感心している」「休み時間も子どもたちと積極的に接してくれて大変な人気者でした」といった感想が寄せられました。



2. 浦安市 青少年自立支援未来塾

浦安市青少年自立支援未来塾は、浦安市教育委員会が実施している市内の公立中学校の生徒を対象とする事業です。

生徒が学習習慣を確立し、基礎・基本の学力を身に付けることができるよう、地域の退職教員や民間教育事業経験者、大学生が数学と英語の学習支援を行います。

今年度は、6か所の公民館を会場に5月末から2月半ばまで、英語、数学ともに17回教室が開かれます。

本学からは、教職課程を履修する日本語学科と英米語学科の3、4年生7名が、「教員になるために教えることや人とコミュニケーションをとることに慣れておきたい」といった強い思いから、数学教室、英語教室にそれぞれ5人ずつ参加し、中学生を支援しています。



3. 浦安市 明海小児童育成クラブ

浦安市の児童育成クラブは、就労等により保護者が昼間家庭にいない児童に放課後等に家庭に代わる生活の場を提供する事業です。

明海小児童育成クラブには、毎日160人近い児童が通っています。

本学から日本語学科の学生7名がボランティアとして参加し、児童が安全に安心して過ごせるように、様々な形で児童育成クラブでの児童の生活を支えています。



4. 都立高校 校内寺子屋

本学では、高大連携協定を結んでいる東京都葛西南高等学校に、英語の基礎学力を向上させる放課後の講習「校内寺子屋」の講師として毎年学生が訪問しており、今年で8年目になります。

講師の学生は、「生徒に寺子屋に来てよかったと思ってもらえるよう、楽しく英語を教えるようにしています」などと、指導上心掛けていることを語っています。



5. 足立区民対象の英語講座

この講座は、2017年に東京オリンピック・パラリンピック開催に対応するための、「おもてなし語学ボランティアブラッシュアップ講座」と、「初級英語講座」との2本立てで1講座全5回、年間に2クール実施の形で始まりました。今年で6回目となる人気の高い事業です。

今年度は「海外旅行で役立つ初級英会話講座」全5回を2クール行い、第1クール32人、第2クール30人の足立区民が参加しました。

毎回英米語学科教職履修学生4～5人がコミュニケーション活動のサポート役として参加し、生涯学習に取り組む姿に触れるよい機会となりました。



6. マスター講座修了者成果発表会

「足立区英語マスター講座」を修了した中高生が、本学を会場としてその成果を発表する場です。

第5回となる今年度は11月3日に9人の中高生がスピーチやプレゼンテーションを発表しました。明海大学英米語学科で教職を履修している2年生3人がゲストスピーカーとしてモデルを示したほか、総合司会、進行補助、審査員補助、オーディオ機器操作、記録動画、写真撮影などを学生が担当しました。

英語教員を目指す大学生にとっては、中高生の英語学習の一端を知る機会であり、中高生にとっては臨機応変に英語を使いこなす大学生の姿が学習への動機づけとなりました。



大学生にとって地域への支援という形で英語学修成果を活用できることは大変大きな喜びです。大学生と地域の方々双方が満足感を得られるこの学習支援を今後も継続できればと願っています。

概要

令和2年度から令和5年度までの4年間、明海大学が文部科学省の委託を受けて小学校外国語活動・外国語科に関する講座を行った。

令和2年度には東京都足立区、千葉県浦安市、秋田県横手市、令和3年度には福島県いわき市、新潟県妙高市、令和4年度には東京都狛江市、令和5年度には北海道釧路市、岐阜県岐阜市、茨城県土浦市、群馬県前橋市が加わり、10の自治体の教育委員会を連携教育委員会とし講座を実施してきた。

また、配信動画を視聴するだけのオブザーバー・ボランティアとして、今年度は、佐賀県伊万里市教育委員会も参加した。

なお、本講座は、小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）、小学校英語教育学会愛知支部理事、公益財団法人日本英語検定協会の協力を得て実施した。



1. 受講対象者

連携教育委員会の公立小学校等の教員等とした。特に令和3年度からは中学校の学習指導要領の全面実施となったことから小学校における外国語科等の内容を中学校の英語教育に円滑に移行していくことが大切である。

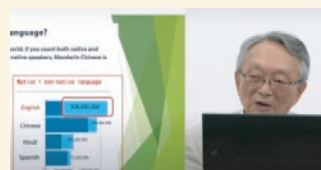
このことを踏まえて、中学校の英語科教員も参加可能としている。

2. 目的

小学校外国語活動・外国語科が導入された学習指導要領を円滑に実施するため、教師の負担を軽減しつつ、質の高い授業を行える指導体制を構築するため、令和2年度～令和4年度と同様に、明海大学「小学校外国語科等講座」（通称：MEIKAI-JOEプラス2023）を開発・実施した。

3. 主な講座内容

第1回講座では、令和4年度アーカイブ講座のうち第1回講座「新学習指導要領の原点」を視聴し、今日の外国語教育の在り方について研修した。



第2回・第3回講座までは、これまで実施してきた令和2年度から令和4年度までのアーカイブ講座の中から2つの講座を選択し、視聴する講座とした。

第4回から第13回講座は参加自治体管下の小学校の授業の様子を約15分にまとめた動画を視聴し、オンラインで10の自治体の先生方が協議をする形とした。

第14回・第15回講座は、日本英語検定協会会長の吉田研作先生による本講座全体のまとめと位置付けて実施した。



講座回	日時	テーマ	講師
1回	オンデマンド講座	新学習指導要領の原点 (令和4年度第1回講座) 【講義型】	英検協会会長 上智大学名誉教授 吉田研作
2回	オンデマンド講座	令和2～4年度講座から選択	
3回	オンデマンド講座	令和2～4年度講座から選択	
4回	7/26 (水) 9:00～10:30	聞くこと・話すことの指導 【授業研究①】釧路市	J-SHINE理事 共愛学園前橋国際大学客員教授 育英短期大学非常勤講師 井熊ひとみ
5回	7/26 (水) 10:40～12:10	小中接続 【授業研究②】狛江市	明海大学教授 坂本純一 明海大学教授 石鍋浩
6回	7/31 (月) 9:00～10:30	聞くこと・話すことの指導 【授業研究③】横手市	J-SHINE理事 共愛学園前橋国際大学客員教授 育英短期大学非常勤講師 井熊ひとみ
7回	7/31 (月) 10:40～12:10	聞くこと・話すことの指導 【授業研究④】足立区	J-SHINE理事 共愛学園前橋国際大学客員教授 育英短期大学非常勤講師 井熊ひとみ
8回	8/3 (木) 9:00～10:30	聞くこと・話すことの指導 【授業研究⑤】いわき市	J-SHINE理事 共愛学園前橋国際大学客員教授 育英短期大学非常勤講師 井熊ひとみ
9回	8/3 (木) 10:40～12:10	チーム・ティーチング 【授業研究⑥】妙高市	明海大学教授 百瀬美帆 明海大学教授 米村珠子 明海大学教授 Patrizia Hayashi 明海大学准教授 Tyson Rode
10回	8/17 (木) 9:00～10:30	聞くこと・話すことの指導 【授業研究⑦】前橋市	J-SHINE理事 共愛学園前橋国際大学客員教授 育英短期大学非常勤講師 井熊ひとみ
11回	8/17 (木) 10:40～12:10	読むこと・書くことの指導 【授業研究⑧】浦安市	小学校英語教育学会愛知支部長 愛知県立大学教授 池田周
12回	8/22 (木) 9:00～10:30	学習評価 【授業研究⑨】岐阜市	明海大学教授 金子義隆
13回	8/22 (木) 10:40～12:10	チーム・ティーチング 【授業研究⑩】土浦市	明海大学教授 百瀬美帆 明海大学教授 米村珠子 明海大学教授 Patrizia Hayashi 明海大学准教授 Tyson Rode
14回	9/12 (火) 15:20～16:20	授業研究講座全体を通して 見えてくる課題と成果 【講義型】	英検協会会長 上智大学名誉教授 吉田研作
15回	10/19 (木) 15:20～16:20	小学校英語の指導に当たって 求められる教師の力と小学校 英語担当者に期待すること 【講義型】	英検協会会長 上智大学名誉教授 吉田研作

テーマ 大学と地域の連携によるウェルビーイング推進の可能性

概要

本学の地域連携の現状と成果を踏まえ、連携事業に関わる教育委員会や連携高等学校、連携事業に参加した留学生・学生の視点から、今後のウェルビーイング推進の可能性について議論を深めます。

パネリスト



つゆくち けんじ
露口 健司 氏
愛媛大学大学院
教育学研究科 教授



みわ まさつぐ
三輪 政継 氏
東京都足立区教育委員会
統括指導主事



ほりえ としひこ
堀江 敏彦 氏
東京都立飛鳥高等学校
校長



たかぎ ゆき
高木 由紀
明海大学外国語学部
英米語学科3年



しゆく あいびん
宿 愛敏
明海大学経済学部
経済学科3年

コーディネーター



やまもと せいし
山本 聖志
明海大学地域学校教育センター
教授

流れ

- ① 自己紹介、連携事業の現状と成果
- ② 地域連携におけるウェルビーイング推進の現状と課題
- ③ 連携事業におけるウェルビーイング推進の取組
- ④ 質疑応答
- ⑤ まとめ

MEMO



なりたいじぶん大学。
明海大学
MEIKAI UNIVERSITY

外国語学部 / 経済学部 / 不動産学部 / ホスピタリティ・ツーリズム学部 / 保健医療学部 / 歯学部